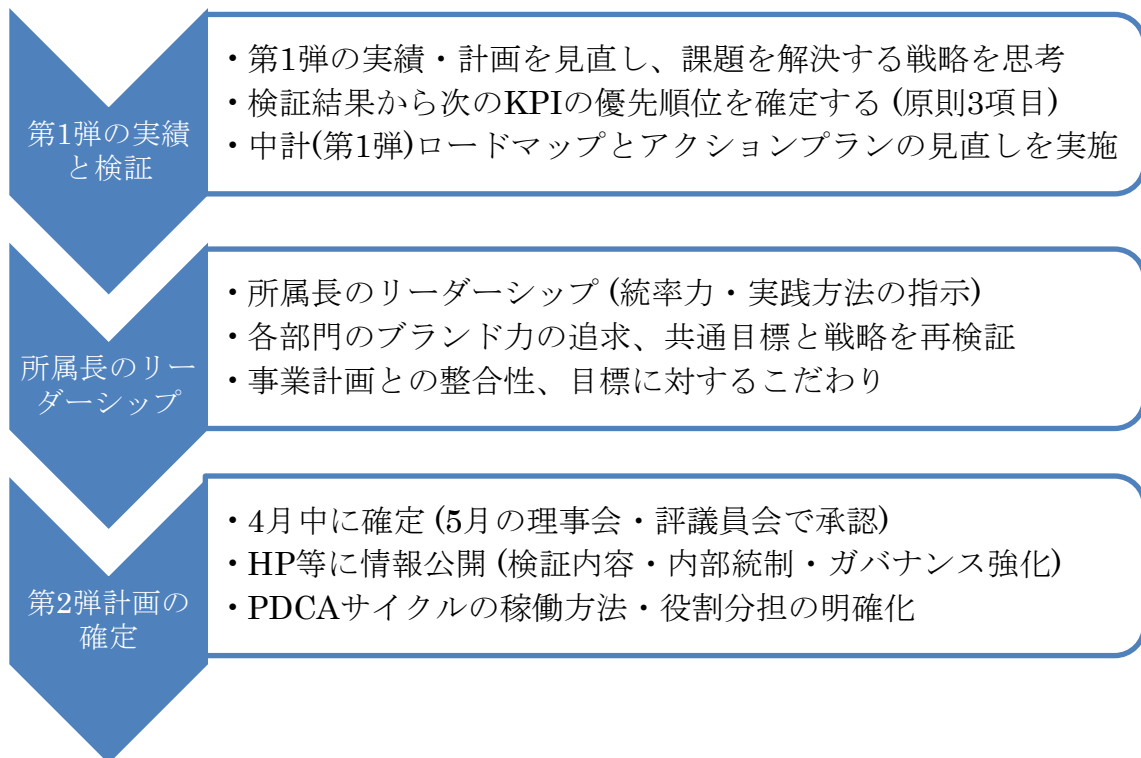


中長期経営計画(第2弾/2021~2025)の実施要領について

1. 目的

学校法人純美禮学園中長期経営計画「すみれ 2030」遂行の意義・必要性に基づき、各部門独自の中期計画を更にブラッシュアップさせ、学園全体の中長期経営計画に落とし込むことで、当学園の持続可能な成長と将来のあるべき姿を描き、その目標に向かって全教職員が一丸となって取り組むことにある。

2. 実施方法



3. 「中計戦略委員会」の役割 (責任者のリーダーシップ)

- 法人本部…中野事務局長(委員長)、辰巳部長(責任者)
- 短大…中村事務局長(責任者)+学長+各課長
- 高校…西村事務部長(責任者)+校長+教頭
- 幼稚園…木村園長(責任者)+法人本部
- 保育園…南部園長(責任者)+法人本部

4. 提出物(各部門)・・・提出期限:4/末まで…法人本部宛

- ・各部門の中期計画と学園中長期経営計画の整合性の合致。
- ・中期経営計画<第2弾> (ロードマップ・アクションプラン)の提出。
- ※書き方…目標の記入(簡潔明瞭・具体化・数値化)。
- ※保存場所…新共通・共通・法人本部(共通)◆第2弾「すみれ2030」に収録。
- ・エビデンス(根拠資料等)の提出。(ある場合のみ)

5. 留意点

(期間)

- ・中長期経営計画「すみれ2030」の運用期間は「2018年～2030年(22年間)」。
- ・その期間を「第1弾・第2弾・第3弾」と区分する。
- ・各部門独自の中計期間がある場合、各部門の期間で実施し、最終は2030年とする。
- ・第2弾の運用期間は「2021年～2025年」。
- ・「ロードマップ・アクションプラン」に沿って実施できる体制の構築と統率力。

(目標の設定)

- ・重点目標(KPI)は原則3項目。⇒具体的目標を細分化し設定する。KPIが3項目以上となる場合は複数可とする。但し、あくまでその期間に優先・具現化すべき目標とするため、目標に優先順位をつける。
- ・目標はできる限り定量的(数値化)かつ具体的目標とする。⇒対外的に「見える化」、透明性ある情報公開、全教職員の共通認識、進捗管理等のPDCA化。
- ・短期大学…各課にて具体的目標を設定。重点目標(KPI)は短大で共通化すること。
- ・高校…教員の分掌ごとの目標設定。高校課題の課題対策。魅力向上の推進方法。
- ・中計戦略委員会…特に法人本部は学園全体の財務状況等の目標を明確にすること。

(実施作業)

- ◆第1弾の検証結果を厳格に遂行できるよう体制づくりを実施すること。
- ・「中期経営計画<第1弾>(ロードマップ・アクションプラン)」に基づきまとめること。
- ◆各目標に対して検証できるよう体制を整備し、その結果を自己評価する。(例:○△×等)
- ◆次年度の課題や改善点を明確にし、目標・戦略として具体的に記入のこと。
- ◆透明性のある情報公開の観点から、誰が見ても理解しやすく、簡潔明瞭な言葉や表現で記入すること。
- ◆既存の目標・計画等を訂正した場合、赤字で修正し、本部へ報告のこと。

以上